

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
現代社会	2 単位 法と現代	日本国憲法	堀田 学	1 年次	秋

授業のキーワード	国民主権、基本的人権の尊重、平和主義
授業の概要	日本国憲法は、最高法規であるため様々な法律にもその理念が生きています。日本国憲法は、身近な生活にもその理念は活かされています。この授業では、日本国憲法の意義と課題について考えていきます。
期待される学習成果（目標）	1. 教養科目としての日本国憲法を理解する。 2. 憲法の規定に則って統治機構が動いていることを理解する。 3. 人権概念を理解する。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	憲法の基礎	この授業のオリエンテーションをします。また、憲法とは何なのかなど説明します。	第 9 講	人権総論 2	これまでの人権から新しい人権と呼ばれるものについて説明します。
第 2 講	参政権	政治参加のための権利である参政権について説明します。	第 10 講	信 教 の 自 由 と政教分離	政治と宗教の関係について説明します。
第 3 講	国会	憲法上の国会の地位などについて説明します。	第 11 講	表現の自由	表現の自由を説明します。
第 4 講	内閣	内閣制度について説明します。	第 12 講	経済的自由	経済的自由について説明します。
第 5 講	裁判所	裁判所について説明します。	第 13 講	人身の自由	人身の自由について説明します。
第 6 講	象徴天皇制	象徴天皇制について説明します。	第 14 講	社会権	自由権とは異なる社会権について説明します。
第 7 講	平和主義	平和と憲法について考えます。	第 15 講	幸福追求権	幸福追求権と人権について説明します。
第 8 講	人権総論 1	人権について歴史的な変遷を見ていきます。	定 期 試 験		重要用語の理解、ならびに各講で取り上げた内容から出題します（記述も含む）。
評価方法		定期試験（100％）で評価します。 定期試験の受験資格として3分の2以上の出席が必要なので出席は毎回取ります。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
駒村圭吾編『プレステップ憲法』弘文堂、2014 年			佐藤幸治『日本国憲法論』成文堂、2011 年 渋谷秀樹『憲法 第 2 版』有斐閣、2013 年 『ポケット六法（平成 28 年度版）』有斐閣、2015 年		